



# YMCA News



2024年2月1日発行  
公益財団法人とちぎYMCA  
〒320-0041  
宇都宮市松原2-7-42  
Tel 028-624-2546  
Fax 028-624-2489  
www.tochigiymca.org  
発行人 / 塩澤 達俊  
編集人 / 公益財団法人とちぎYMCA



## YMCAピンクシャツデー

2024年2月28日(水)

社会全体がいじめに対して「自分ごと」として向き合うこと、  
そして被害者と加害者以外の立場にいる人が「傍観者にならないこと」が、  
傷つけ合うことのない平和な社会につながっていく...と私たちは考えます。  
一人ひとりが勇気をもって、「自分ではない誰かのために」、そして自分たちのために行動しませんか。  
YMCAはそのようなポジティブで前向きな「よくなる」の連鎖を大切にします。

YMCAピンクシャツデー2024  
「いじめ」は一人で解決できないから

### ピンクシャツデー

日本のYMCAも賛同し、毎年2月の最終水曜日に全国各地でイベントを実施し、教職員や子どもたちがピンク色の服や小物を身に付けていじめ反対をアピールするか、いじめに関する授業を行うなど、いじめについて考え、いじめられている人と連帯する思いを表す1日としています。

2024年のピンクシャツデーは、2月28日(水)です。

YMCAは今年も「いじめは一人で解決できないから」をモットーに2月、それぞれの立場で工夫をこらし、アクションを起こします。

2022年度のいじめは過去最多の68万件と報じられる中、つらい日々を送っている子どもたちに寄り添う活動ができるよう目指します。



### 「ピンクシャツデー」とは、

2007年、カナダの2人の学生から始まったいじめ反対運動です。

2007年2月、ピンクのシャツを着て登校した少年が「ホモセクシャルだ」といじめられました。それを聞いた先輩2人が50枚のピンクシャツを購入、インターネットで「明日、一緒に学校でピンクのシャツを着よう」と呼びかけました。翌日学校では、呼びかけに賛同した数百名の生徒がピンクのシャツや小物を身に付けて登校。学校中がピンク色に染まり、いじめが自然となくなりました。このエピソードはSNS等で70カ国以上に広まっていき、カナダでこの出来事があった2月の最終水曜日は「ピンクシャツデー」とよばれるようになり、いじめについて考え、いじめられている人と連帯する思いを表す1日とされています。

YMCAのピンクシャツデーは全国の拠点で取り組んでいます。YMCAが運営する保育施設や学童クラブ、学校やスポーツ教室、語学教室などで、教職員や子どもたちがピンク色の服や小物を身に付けていじめ反対をアピールしているほか、授業やトークイベント等がいじめについて考えを深めたり、商店街などと協働でピンクシャツウォーキングを行ったり。毎年、全国各地で工夫をこらし、さまざまな取り組みを行っています。

(日本YMCA同盟HPより)



◀とちぎYMCA HP

昨年度ピンクシャツデー  
取り組みの様子は  
こちらから!

とちぎYMCAの使命。 ~みつかる。つながる。よくなっていく。~

### 2023年度とちぎYMCA年間聖句

主に望みをおく人は新たな力を得、鷲のように翼を張って上る。走っても弱ることなく、歩いても疲れぬ。」(イザヤ書 40章 31節)

「疲れた者、重荷を負う者は、だれでもわたしのもとに来なさい。休ませてあげよう。」(マタイによる福音書 11章 28節)





### 認定こども園 さくらんぼ幼稚園 「すくすく成長中! りす組&ひよこ組」



【りす組】

年が明け、寒さがより一層厳しくなっていますが、子どもは風の子!というように、りす組の子どもたちはいつでもパワフルです。戸外遊びでは園庭の遊具を上手に使えるようになってきて、好きな遊びを見つけて保育者や友だちとのやり取りを楽しみながら伸び伸びと遊んでいます。  
ブランコの貸し借りでは、保育者と一緒に10を数えて交代する練習をしています。戸外から入室すると、「そでまくまく」の合言葉で服の袖をまくって、手洗いが上手にできるようになってきました。

毎週木曜日に行っている運動遊びでは、リズムカルな音楽に合わせて体を動かしたり、マットや玉入れなど様々な用具に親しみを持って取り組んでいます。3学期のりす組の成長も楽しみです。

【ひよこ組】

4月の入園当初は初めての場所や大人に慣れず、泣きながら登園する子どもたちでしたが、今ではニコニコで登園し、おうちの人に手を振って保育室に入るようになりました。  
個人差はありますが、寝返りしか打てない子はいよいよ歩けるようになり、ハイハイだった子は今や全力で走るようになりました。



「お散歩行くよ。」と声を掛けると帽子、上着、靴下を手に持ち「早く着させて」と順番待ちをし、自分の支度が終わるとお手伝いしてくれます。四季を感じながらのお散歩はみんな大好きです。  
子どもたちは日々の生活からたくさんのお話を学び、できるようになりました。給食もたくさん食べてお昼寝もしっかりとて毎日すくすく成長中のかわいいひよこ組です。



### ようとう保育園 「幼児組 生活発表会」



12月16日(土)2023年度幼児組生活発表会を開催いたしました。“輝け!心をついに発表会!”をスローガンに掲げて挑んだコロナ禍明けの発表会。「クレヨンくろくくん」「うらしまたろう」「金のがちょう」の子どもたちに人気がある絵本、日本昔話やグリム童話といったクラスカラーが出ていた劇あそび。緊張のあまり表情が硬くなってしまった子に声をかけて緊張が和らぐなど、ハプニングがあっても最後までみんなで気持ちを一つに頑張る姿など、年齢に応じた発達と成長を感じました。

歌では「さんぽ」「ジングルベル」の歌詞を覚えるため、壁に貼られた歌詞を確認して歌う練習を繰り返すうちに歌詞を見ないで大きな声で歌えるようになり、本番も自信を持って歌う姿に保育士や観客へ感動を与えてくれました。  
各クラスの演目は、「アイドル」のように目の前の観客を虜にした可愛いダンスを披露したうぐいす組。初めての楽器あそびでみんなと音を合わせる難しさを感じ、少しずつバラバラだった音が1つになった喜びを感じた楽器あそびと、可愛い振り付けで大きな声で英語の歌を歌った英語あそびで笑顔くれたふじ組。自分なりの目標を決めて跳び箱と鉄棒の練習に励んできたさくら組。本番は観客や友だちに応援されながらみんなに最後まで頑張る、自分の限界を超える粘り強さを見せ、年長児らしいカッコイイ姿で会場を盛り上げてくれました。  
保護者の皆様の温かい声援と眼差しで、全員が最後まで頑張り、心をついに一人ひとりの成長が輝いた素敵な発表会となりました。

生活発表会担当 阿嶋 ころろ



### 足利YMCA・JOCS 第43回市民クリスマス



12月9日(土)にあしががフラワーパークプラザ(足利市民プラザ)小ホールにて、足利YMCA・JOCS第43回市民クリスマスを開催いたしました。  
足利YMCAが1981年に設立して43年が経ちますが、設立以降、市民クリスマスを毎年開催しています。多くの市民の皆様と共に、1年の締めくくりにクリスマスを祝い、市民の幸せと世界の平和を祈り、願うプログラムを開催してまいりました。

会場には多くの方の来場者が集まり、アルファリリーさんによるハンドベル演奏、望月奈津子牧師(日本キリスト教団高崎教会)によるクリスマスメッセージ、八木祐子さんによるソプラノコンサート(電子オルガン演奏 石川龍子さん)など、クリスマス前に心が癒やされる音楽や歌声を来場者の皆様とともに聞くことができました。  
皆様のご理解・ご協力を賜り感謝を申し上げます。



### もうひとつの家 アットホームきよはら 「月の家の皆さんと!合同運動会」

11月12日(日)、鬼怒川緑地公園にて「月の家」の皆さんと合同で運動会を開催しました。子どもはおよそ30名、大人もほとんど同じくらいの人たちが集まりました。  
運動会当日までの間、子どもたちから意見を聞いて、競技種目やお昼のメニューを考え、怪我をした時のために救急箱を準備し待ちましたが、子どもたちはこの日が来るのを楽しみにしていたようです。4回目の運動会、月の家とアットホームきよはらの子どもたちがお互いに雰囲気にも馴染みがあり、過ごし易さを感じているようでした。  
楽しみにしていた当日は、いざ始めると子どもたちの中のエネルギーに火が付き、それがだんだんと大きく燃え出し、終盤の種目、騎馬戦やリレーではみんな無我夢中で奮闘しており、応援にも力が入る思いでした。  
このイベントは「負けたくない」という子どもたちの気持ちを少し刺激したようです。



そして、奮闘する子どもたちの姿に刺激を受け、ちょっとだけ参加した競技で痛めた腰や肩をさすりながら「勝たなくてもいいから負けるな」と呟く大人は一人だけではありません。

山口 亮二

### 宇都宮市青少年活動センター(トライ東) 「新春!餅つき・餅まき大会」

1月6日(土)に青少年活動センターにて餅つき餅まき大会を開催しました。当日は50名を超える方々にご参加いただき、とても賑やかなイベントとなりました。  
最初は餅つきを行いました。参加された方は楽しそうにお餅をついており、順番を待っている間も「まだかまだか」とわくわくしているおともだちの様子もありました。皆さんとても頑張ってお餅をついていました。  
餅つきが終わったあとは餅まきを行います。スタッフが2階のベランダからお餅やチョコなどのお菓子類を投げ、落ちてきたお菓子を参加者の皆さんが取っていくイベントです。



今年は参加人数が多かったので、A班B班と分けて餅まきを楽しみました。落ちてくるお菓子を楽しくキャッチしている姿や落ちてくる場所を予測して動いている姿が多く見受けられ、たくさんの笑顔を見ることができました。  
餅つきと餅まきを終わらしたら、最後に参加者全員にお餅をプレゼントしました。醤油ときなこの王道味付けのお餅を、ご家族で美味しく食べて今回のイベントは終了しました。  
今年初めてのイベントが地域の皆さまのおかげで大盛況のなか終了いたしました。スタッフ一同、心より感謝申し上げます。今後もたくさんの方のイベントを開催していきますので、ぜひご参加ください。

鷹箸 守

### 子どもの家だより ~清原南小子どもの家(スマイルクラブ)~ 「縄跳びに挑戦!」



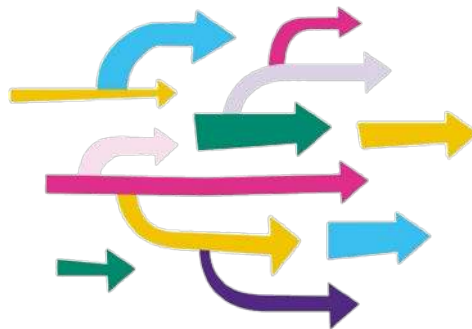
4月に入会した、元気いっぱいな1年生たちも、今ではスマイルクラブの一員として、学童生活を健やかに過ごしています。  
当クラブでは11月~12月にかけて「なわとび検定」を実施しています。1年生は前跳び、2年生は前跳びと後ろ跳び、3年生以上は前跳び、後ろ跳び、その他、二重跳びやあや跳びの中から1種目を追加して検定します。毎年行っているため、前年度の記録を確認しながら、子どもたちが目標を立て自己記録更新を目指して取り組まれました。

なわとびが苦手な子にも達成感を味わってほしいと支援員も声をかけながら応援しました。6年生の中には三冠を達成した強者もいました!このタイミングで、交流チャレンジプログラムのなわとびチャレンジにも挑戦したいと思っています。

主任支援員 高橋 美由紀



YMCAが実現したい世の中の中の姿



互いを認め合い、高め合う  
「ポジティブネット」のある  
豊かな社会を創る。



# とちぎYMCA大会開催のお知らせ



## とちぎYMCA大会2023

## 今年も、開催決定!

今年も行います!とちぎYMCA大会!!  
とちぎYMCA大会とは、とちぎYMCAに関わる全ての皆さまや、これから関わるであろうあらゆる方々と一緒に、YMCAの働きを通して未来に期待していくための大会です。

今回は、第20回世界YMCA大会で採択された「vision2030」と「とちぎYMCA50周年に向けて」の中期計画を重ね、会員の皆さま、地域の皆さま、とちぎYMCAに関わる全ての皆さまと共にとちぎYMCA50周年に向けてのスタートの契機とさせていただきます。

詳細は、とちぎYMCAホームページにてご案内いたしますので、続報をお待ちください。

**日時: 2024年3月3日 (日)**

**場所: 宇都宮市青少年活動センター (トライ東) 体育館**  
(〒321-0962 宇都宮市今泉町 3007)

**参加費: 無料**



Community Wellbeing

コミュニティー  
ウェルビーイング



Meaningful Work

やりがいのある仕事  
と雇用環境の創造



Sustainable Planet

持続可能な地球の  
ために



Just World

公正な世界の実現  
のために



# 能登半島地震 YMCA緊急支援募金2024

## 能登半島地震YMCA緊急支援募金2024

第1次募金期間2024年3月31日まで

### ◆募金使途：

- ・被災地近隣YMCAと協働して行う、能登半島地震の被害を受けた地域への支援活動
  - ・YMCAが関係する災害支援団体との協働で行う支援活動
- \*詳細は随時、下記のホームページでお知らせします。  
[https://www.ymcajapan.org/noto\\_sien/](https://www.ymcajapan.org/noto_sien/)

### ◆募金方法：各YMCAの窓口へ直接お持ちいただくか、以下にお振込みください。

- ・郵貯振替：公益財団法人とちぎYMCA募金口
  - ・口座番号：00340-8-40685
- \*「2024 能登半島」とご記載ください。

◆とちぎYMCA ホームページからはクレジットカードでの送金もできます。  
 右のQRコードからWebサイトにお入りください。



過去の災害支援の様子



## 月刊# (ハッシュタグ)



### 第32回 #なにそれなにそれ

とちぎYMCA総理事  
塩澤 達俊

#### #能登半島地震

大きな被害となった能登半島地震の発災から1か月が経ちました。困難のなかにある皆さまに心よりお見舞い申し上げますとともに、一刻も早い平安の訪れをお祈り申し上げます。

1月来、YMCAでは被災地への支援が加速しています。富山YMCAでは子どもたち向けのリフレッシュプログラム実施の検討をし、東京YMCAは輪島市での支援活動が実施へ向けての検討をしています。そして、内閣府からの要請で大阪YMCAや日本YMCA同盟のスタッフ、加えて神戸YMCA元職員などが1月早々に現地に入り石川県が開設する金沢市内の1.5次避難所開設のアドバイスをして立ち上げたり、初期運営に関わっています。



開設された1.5次避難所・県職員らにアドバイスする大阪YMCA山根さん  
避難所運営に当たる元神戸YMCA松田さん

これまで阪神淡路大震災、東日本大震災、熊本地震などで経験した避難所運営のノウハウは県庁職員や指定管理施設の方々に貴重なものとなっています。今後は、被災支援経験に富む熊本YMCA、仙台YMCAをはじめ、全国各地のYMCAから継続的な避難所運営支援のスタッフ派遣と続く予定です。

とちぎYMCAでは、これらの支援や募金活動に加えて、台風19号田川水害でつながった地元のとちぎ災害ボランティア・ネットワークや、名古屋のレスキューストックヤード (RSY) との協働チームとして、避難所の生活環境支援 (食事準備、清掃、トイレ掃除、水汲みなど)、そのほか在宅避難者へのニーズ調査、足湯ボランティアなどの支援で2月～3月にかけてボランティアの皆さんにご協力をお呼びかけ合流する予定です。

週に4～5日間程度活動できる方 (例：土の夜に栃木発⇒日・月・火・水活動して⇒水の夜に現地発⇒木の朝に栃木着)、また、ドライバー、車両提供などのボランティアも、この連合グループとしてYMCAでも別途募集の予定です。お考えいただける方は090-1730-3716 (総理事塩澤携帯)、とちぎYMCA各窓口までいつでもお声掛けください。引き続き、募金活動へのご協力もあわせてお願いいたします。

## 高校生ボランティアグループ「つぼみ」



### つぼみ通信 vol.10



#### これからの目標



私がつぼみに入ってもうすぐ1年が経とうとしています。ここまで振り返ると、最初は他校の高校生になじめるか不安なところはありませんでしたが同学年のリーダーや1年生など、学年に関係なく明るい雰囲気をつぼみの活動を続けていく中で今では毎週の集まりが待ち遠しい日々となりました。

つぼみに入った当初は、敷かれた線路上の上を走るように、活動の方針はスタッフによって決められているのかなと思っていました。しかし、実際に活動する中で、活動の方針や内容などを自分たちで決めていくことに気づき、とても驚きました。そんなこともあり、あっという間に感じた1年でしたが今年も去年までの活動で感じたことを活かして更に活性化したつぼみにしていきたいです。

また、現在つぼみでは毎月、つぼみ食堂を開催し、頑張っています。2月は24日(土) 16:00～18:00に開催予定です。詳細はとちぎYMCA(ユースアカウント)のインスタグラムをチェックしてみてください。つぼみ一同お待ちしております!!

宇都宮南高校2年 岡村 良亮 (マック)